

被ばく低減対策好事例集

場所		分類		番号	30-05
原子炉建屋内	RB	RB 5	1 時間		
タービン建屋内	TB		2 距離		
R ZONE	R		3 遮へい		
Y ZONE	Y		4 線源の除去		
G ZONE	G		⑤ 遠隔、自動化		
その他 ()	Z		6 汚染拡大防止		
			7 その他		

内容: ロボットを使用した原子炉建屋5FL(オペフロ) 調査

作業場所: 2号機 原子炉建屋5FL (オペフロ)

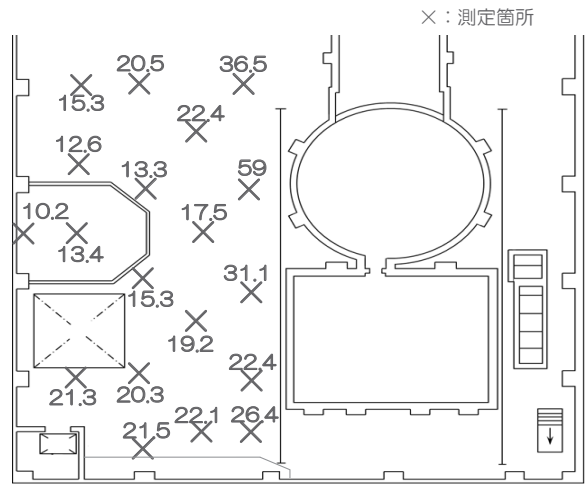
概略: 2号機 原子炉建屋5FL (オペフロ) 内の線量率・汚染密度の測定等にロボットを活用し、併せてRMS (※)を使用した。

評価 (定性・定量)	効果	対策前		対策後	
		被ばく線量(mSv)	55.01	34.38	
		人工数(人日)	--	--	

事例詳細 (※)Remote Monitoring System

対策前 オペフロの状況調査を人手を介して実施すると多量の被ばくを要すると予想された。

対策内容 ロボット/RMSを使用してオペフロ上の線量率・表面汚染密度等の測定を行った。



監視

- 作業エリアの線量当量率
- 作業員の積算被ばく

- 作業エリアの線量当量率測定による被ばくを削減
- 作業員の被ばく確認に要する放管員の被ばくを削減
- 作業員の突出した被ばくを防止